

## 緑の回廊設定方針における調査すべき具体種の種名変更について

ツチガエルは、北上高地緑の回廊設定方針（令和4年3月設定）において、調査すべき具体種として記載されている。しかしながら、東北地方太平洋側から関東地方にかけて分布する個体群がムカシツチガエルとして2022年に新種記載された（Shimada et al., 2022）ため、上記の回廊設定方針におけるツチガエルの表記をムカシツチガエルに変更することとする（裏面参照）。

## 【参考文献】

- 1 Tomohiko, S., Masafumi, M., Mitsuaki, O., Ikuo, M., Mai, T., Mi-Sook, M. & Koshiro, E. (2022) Genetic and morphological variation analyses of *Glandiranarugosa* with description of a new species (Anura, Ranidae). *ZOOTAXA*, 5174(1), 25-45
- 2 （プレスリリース）新種・ムカシツチガエルを発見、愛知教育大学  
[aue\\_press\\_release\\_20220808.pdf \(aichi-edu.ac.jp\)](#)

評価項目目

着目する生物		当該生物種の生息地等に共通する特徴 (調査・確認する背景)	調査すべき情報	調査期間	調査すべき具体種	具体種ごとに留意すべき事項
大分類	中分類					
2		マイクログロハビタットの保全に関すること				
希少な爬虫類・両生類の保護						
カエル類	カエル類	・ 幼体の生息環境は池沼や水溜り等、成体は林床や樹木に生息している。 ・ 地域を特徴づける希少野生生物である場合があり、適切な保全措置を検討する必要がある。	・ 確認されたカエル類に関して一般的な繁殖池となる池沼や水溜り、溪流河川等に関する情報	繁殖期である春季及び夏季の2シーズン	・ ツチガエル、 タゴガエル、 ヤマアカガエル ・ 上記に加え、現地調査や文献調査により、その地域において重要な種又は注目すべき種	・ 池、溪流、水たまり等の水辺の繁殖地の消失を確実に避けること。 ・ 沢等の水の流れの分断を確実に避けること。 ・ 暗渠で水を流す場合には、上下流口から小動物が移動できるよう配慮すること。

ムカシツチガエルに表記変更